

# 宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和6年第13週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（13週までに新たに届出のあったもの）

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
- 5 類感染症：水痘（入院例） 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			90歳代	女	肺結核	咳、痰
4類	レジオネラ症	宮崎市	70歳代	男	肺炎型	肺炎
5類	水痘（入院例）	日南市	0~4歳	女	臨床診断例	発疹

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,442 人(定点当たり 31.5)で、前週比 95%と横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 399 人(6.9)で、前週比 110%と増加した。中央(18.0)、高千穂(10.5)、延岡(9.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 4 割を占めた。

##### 【インフルエンザ】

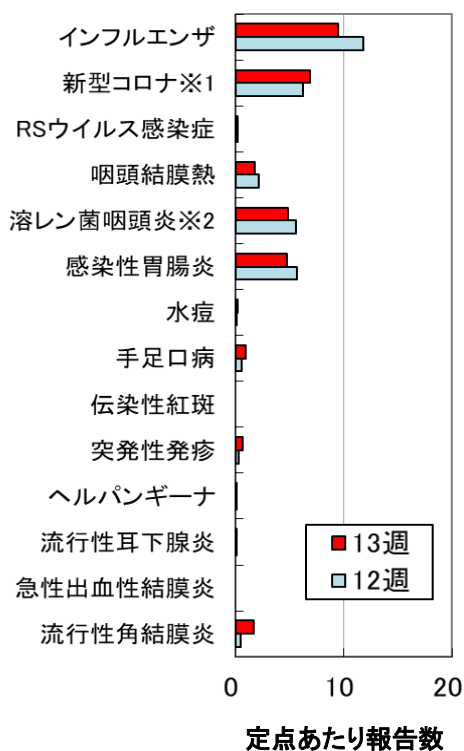
報告数は 548 人(9.45)で、前週比 80%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.3)の約 7.2 倍であった。日南(19.2)、中央(16.5)、日向(11.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 9 割を占めた。

##### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 176 人(4.9)で、前週比 87%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.6)の約 3 倍であった。宮崎市(8.3)、延岡(8.0)保健所からの報告が多かった。年齢群別は 4 歳から 6 歳が全体の約 4 割を占めた。

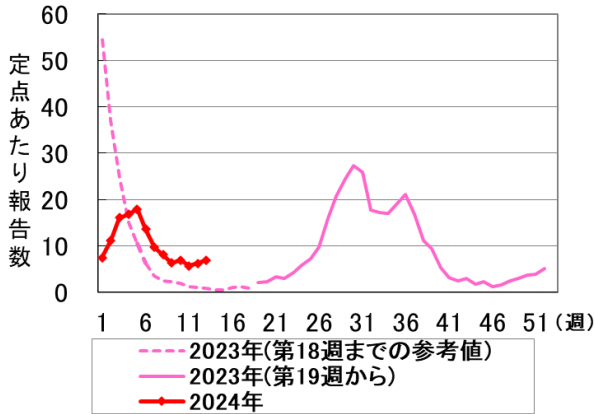
\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

《前週との比較》

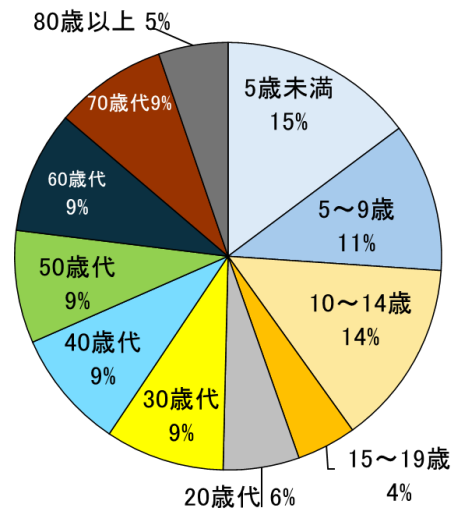


※1 新型コロナウイルス感染症  
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

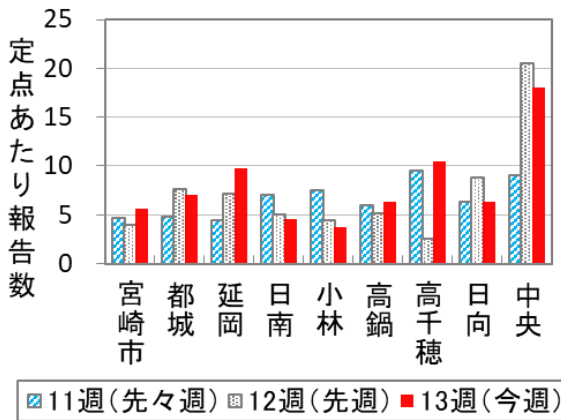
新型コロナウイルス感染症 発生状況



新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第13週)

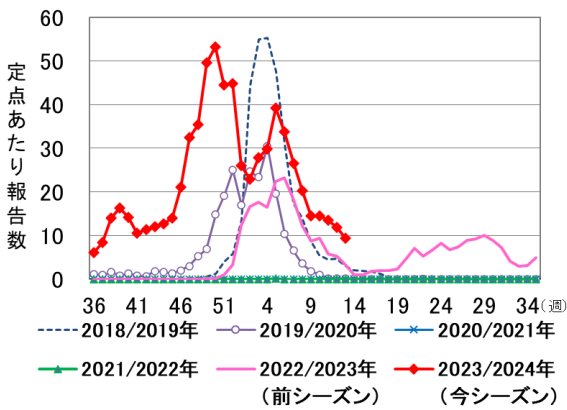


新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

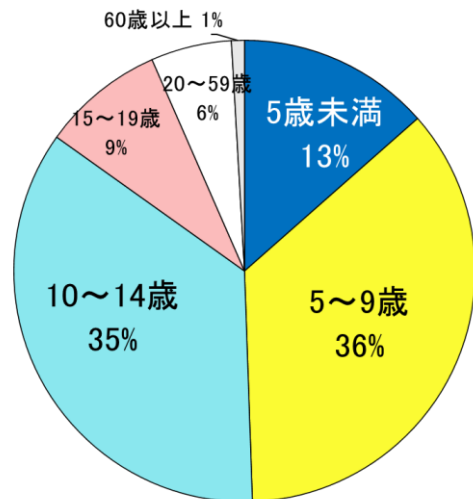


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

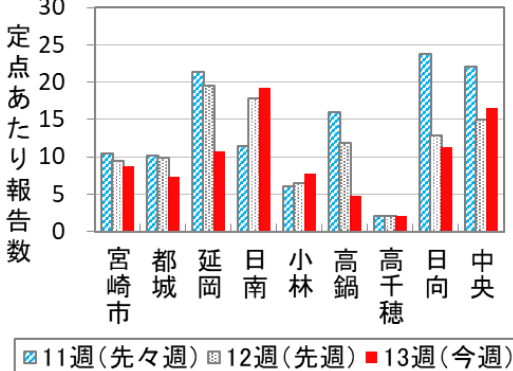
インフルエンザ 発生状況



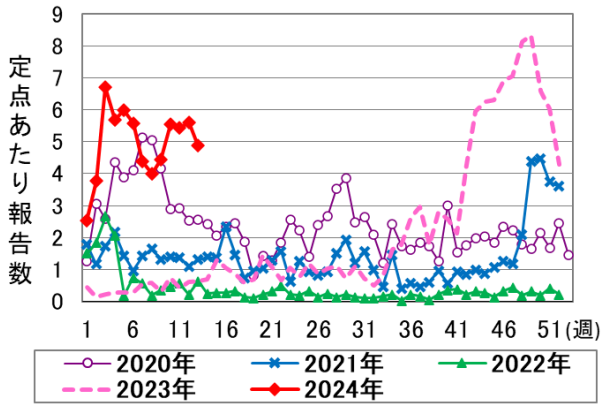
インフルエンザ年齢群別グラフ(第13週)



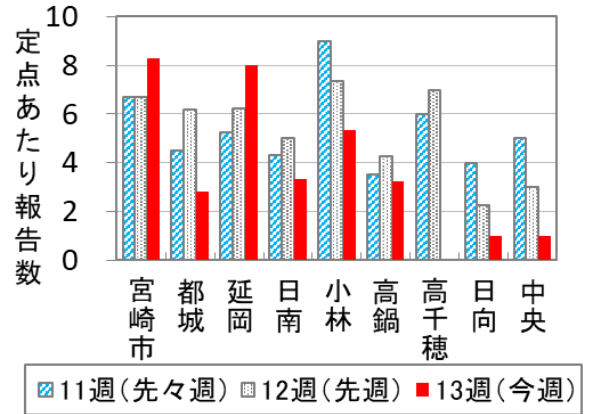
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	A型溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.3)
都城	なし
延岡	インフルエンザ(10.7) A型溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
日南	インフルエンザ(19.2)、咽頭結膜熱(4.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(11.3)
中央	インフルエンザ(16.5)、咽頭結膜熱(3.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・咽頭結膜熱(3)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和6年4月1日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	60歳代	男	2024.2.22	無症状	便	2024.2.29
<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (O4:d:1,7)	40歳代	女	2024.2.27	無症状	便	2024.3.5
<i>Salmonella</i> Infantis(O7:r:1,5)	30歳代	女	2024.3.4	発熱(37.4℃)、胃腸炎(水様性下痢)	便	2024.3.12

○3名からサルモネラ属菌が分離された。サルモネラ属菌によって起こるサルモネラ症は、下痢・腹痛・嘔吐・発熱が主症状であるが、小児や高齢者等の免疫力の低い人では重症化する可能性がある。サルモネラ症は経口感染するため、調理・食事の前の手洗い、食肉の十分な加熱等により予防できる。気温の上昇とともに、患者数が増加することから、衛生管理等には十分注意する必要がある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Human metapneumovirus	5～9歳	男	2024.01.29	急性気管支炎、39.1℃、気管支炎	鼻汁	2024.03.25
Influenza virus A H1pdm09	30歳代	男	2024.2.14	インフルエンザA型、38.1℃、咽頭痛、咳	鼻咽頭ぬぐい液	2024.3.18
Influenza virus B(Victoria lineage)	5～9歳	男	2024.02.19	インフルエンザB型、39.2℃、上気道炎、気管支炎、下痢、腹痛	鼻汁	2024.03.25
Influenza virus B(Victoria lineage)	10歳代	男	2024.02.26	インフルエンザB型、38.6℃、咽頭炎	鼻汁	2024.03.25
Influenza virus B(Victoria lineage)	5～9歳	女	2024.02.29	インフルエンザB型、39.5℃	鼻咽頭ぬぐい液	2024.03.25

📊 全国 2024 年第 12 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	223 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	22 例		
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	3 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	5 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	27 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	3 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	19 例
	急性脳炎	5 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	25 例	後天性免疫不全症候群	4 例	ジアルジア症	2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性肺炎球菌感染症	42 例	水痘(入院例)	2 例
	梅毒	130 例	播種性クリプトコックス症	4 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	4 例	風しん	1 例
	麻しん	1 例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 83%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。

インフルエンザの報告数は 69,510 人(14.1)で前週比 82%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.9)の約 7.5 倍であった。新潟県(29.1)、富山県(29.0)、山形県(27.6)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 25,727 人(5.2)で前週比 85%と減少した。秋田県(10.1)、宮城県(9.6)、岩手県(9.5)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2024年 第13週(03月25日～03月31日)

疾病名		第12週	第13週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	684	548	139	73	75	96	31	29	4	68	33
	定点当り	11.79	9.45	8.69	7.30	10.71	19.20	7.75	4.83	2.00	11.33	16.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	362	399	90	70	68	23	15	38	21	38	36
	定点当り	6.24	6.88	5.63	7.00	9.71	4.60	3.75	6.33	10.50	6.33	18.00
RSウイルス感染症	報告数	6	6	1	2			3				
	定点当り	0.17	0.17	0.10	0.33	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	76	63	27	1	7	12	8	1	1	3	3
	定点当り	2.11	1.75	2.70	0.17	1.75	4.00	2.67	0.25	1.00	0.75	3.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	202	176	83	17	32	10	16	13		4	1
	定点当り	5.61	4.89	8.30	2.83	8.00	3.33	5.33	3.25	0.00	1.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	203	172	50	30	14	18	21	19		16	4
	定点当り	5.64	4.78	5.00	5.00	3.50	6.00	7.00	4.75	0.00	4.00	4.00
水痘	報告数	3	6	1	1	1	2				1	
	定点当り	0.08	0.17	0.10	0.17	0.25	0.67	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	22	35	27	1				4			3
	定点当り	0.61	0.97	2.70	0.17	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	3.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	11	23	9	5	5		2	1		1	
	定点当り	0.31	0.64	0.90	0.83	1.25	0.00	0.67	0.25	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	3	3								
	定点当り	0.03	0.08	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1			1						
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	10	9		1						
	定点当り	0.50	1.67	3.00	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～13週 保健所受理分)

2類感染症	結核	19例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5例		
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	13例
			レジオネラ症	3例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例	後天性免疫不全症候群	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	3例	水痘(入院例)	1例(1)
	百日咳	1例	梅毒	40例

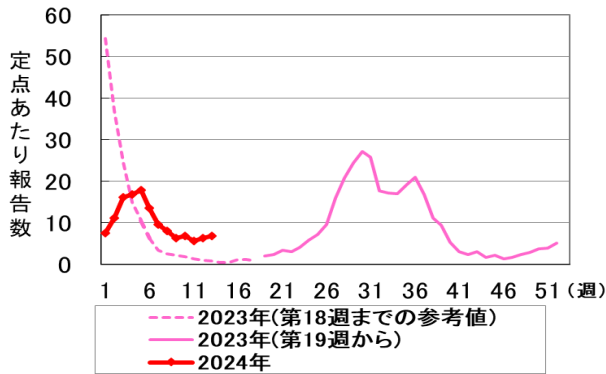
( )内は今週届出分、再掲

# 新型コロナウイルス感染症情報《県内第13週、全国第12週（再掲）》

## □ 県内第13週新型コロナウイルス感染症発生動向

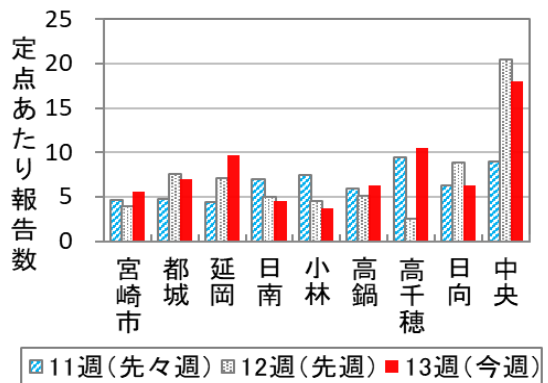
3月25日～3月31日までの1週間で399人(6.9)の報告があった。前週比110%と増加し、中央(18.0)、高千穂(10.5)、延岡(9.7)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況

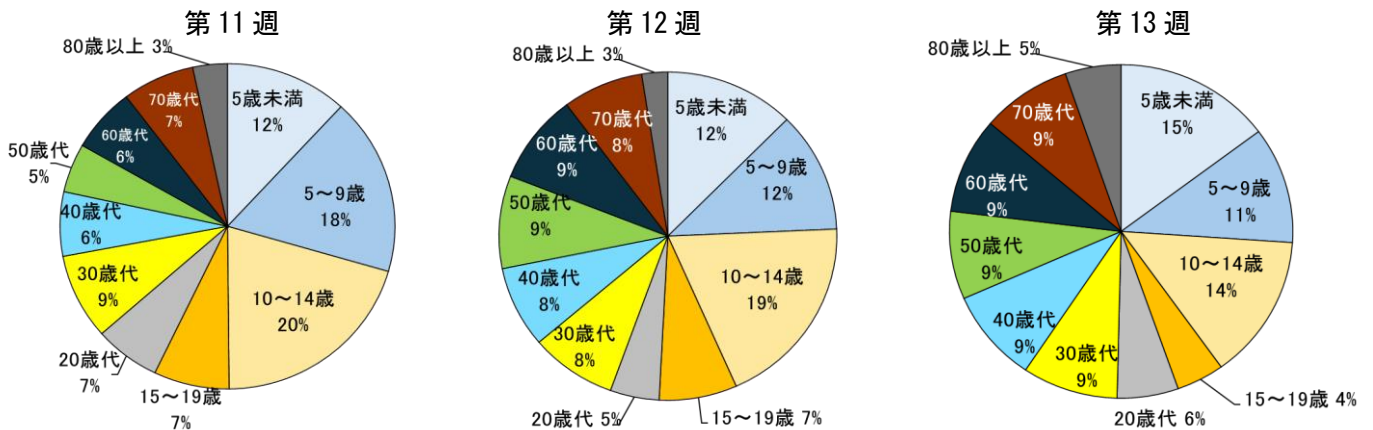


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

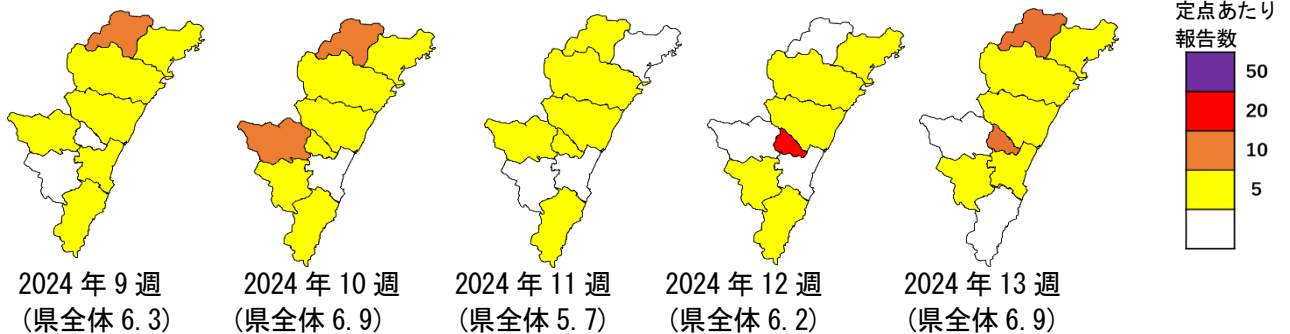
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024年第9週～2024年第13週



\* 県独自の基準によるもの

## □ 全国第12週新型コロナウイルス感染症発生動向

3月18日～3月24日までの1週間で25,727人(5.2)の報告があった。前週比85%と減少し、秋田県(10.1)、宮城県(9.6)、岩手県(9.5)からの報告が多かった。年齢群別では15歳未満が全体の約3割を占めた。